

2019年9月8日(日)朝10:10～  
9月第2共同主日礼拝式説教

主の聖霊降臨節第14、役員会等  
日本アライアンス庄原基督教会

説教題：**イエスの服に触れた女性**(20～22節)

聖書：マタイ 9章20～22節

＜口語訳＞

新約聖書13～ 頁

マタイ 9章20～22節

＜新共同訳＞

新約聖書16～ 頁

マタイ 9章20～22節

＜新改訳第3版＞

新約聖書16～ 頁

マタイ 9章20～22節

＜塚本訳＞

新約聖書91～ 頁

主題：主イエス様から賜った聖霊の導き  
によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人**の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓・説教**と表現される箇所です。
- ◇本日の**マタイ9:20～22**は、主が、12年間、**長血**を患った女性が、**主の衣**に触って、癒されたことを扱っておられる箇所です。
  - ⇒「**長血を患った女性**」は、ユダヤの社会的、宗教的立場では、「**生ける屍**」で、**御子イエス・キリスト様**の衣に触れると、主も汚れた者にあることになっていました。
  - ⇒**御子イエス・キリスト様**は、触れた女性を責め、嫌うどころか、**マルコ5:30**で、「わたしの着物にさわったのはだれか」と、言われましたが、**マルコ5:34**で、「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。すっかりなおって、達者でいなさい」と、語りかけ、癒し、社会的宗教的にも、罪を問われない存在にされたのです。12年間の偏見、差別の苦しみから解放して下さったのです。

⇒この箇所を中心メッセージは、「**神の御子、主イエス・キリスト様の権威**」ある力が、少女を生き返らせ、長血の女性を癒し、次々出て来る「盲人の目を開き」、「吃音者の口を解く」わざを見せて下さっています。

⇒ツアラー、中風、熱病等や自然界の嵐を静める等の業を通して、「**主の権威**」あるわざなのに、それに与る者の信仰のように見せて下さっています。

⇒今日の箇所で大変なのは、「**神の御子イエス・キリスト様の目線**」と、それを取り巻く人々の目線の違いで、長血を患った女性の目線では、「**生ける屍**」ですが、「**御子イエス・キリスト様の目線**」では、「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。すっきりなおって、達者でいなさい」です。

⇒私たちが、主のみことばに常に聴く必要があるのは、日常の目線が目に見える現実には生き、主の目線で見えていないからです。

⇒「**長血を患った女性**」が、「**生ける存在**」で見れるのは、主がその病を引き受けたからです。

本論；

◇本日、**マタイ書9章20～22節**から主の**使信**に**思い・心vous**をとめます。

◆**マタイ9章20～22節**；使徒**マタイ**は、**神の権威**が、「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。すっかりなおって、達者でいなさい」と、宣言されると、「**生ける屍**」である**12年間長血を患った女性**(20～22節)を社会的宗教的拘束から解放し、差別や偏見から自由にして「生きる者」にしたのです。

◇**18～26節**；塚本訳◆**役人の娘と長血の女**

「20 するとそこに、十二年も長血にかかっていた女が近寄ってきて、後ろからイエスの上着の裾にさわった。

21 「お召物にさわるだけでも、なおるにちがいない」と、ひそかに思ったのである。

22 イエスは振り向いて、女を見ながら言われた、「娘よ、安心しなさい、あなたの信仰がなおした。」するとちょうどその時から、女はなおった。」と、**使徒マタイ**は主のことばを語っています。

◇**20～22節**；「するとそこに、十二年も長血にかかっていた女が近寄ってきて、後ろからイエスの上着の裾にさわった、『お召物にさわるだけでも、なおるにちがいない』と、ひそかに思ったのである」、「イエスは振り向いて、女を見ながら言われた、『娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。すっかりなおって、達者でいなさい』」、「するとちょうどその時から、女はなおった」、「**長血を患った女性**」は、「**生ける屍**」の偏見、差別等から解放されました。

⇒**レビ記15:19～30**では、流血がある限り、不浄と見なされ、寝床、椅子等も、汚れ、夕方まで使えなくなり、それに触れる者も、汚れた者と見なされ、生活が制限されるので、人々は、「**長血を患った女性**」を避けるようになったのです。

⇒**民数記15:38～40**では、衣の四隅の房をユダヤ人はつけるようにしていました。人々がその房を見て、もろもろの戒めを思い出し、目の慾によって、みだらな行いをしないようにしたのです。**長血の女性**は、衣に触れました。

⇒選民のしるしである衣の房は、「**長血の女性**」を汚すどころか、気づかれないだろうと、そっと触れたのに、だれかが触ったと気づかれ、結果として、汚れは清められたしるしに癒されたのです。

⇒しかも、**ルカ8:47**によると、隠しきれないのを知って、震えながら進み出て、ひれ伏した**長血の女性**を見て、主は、「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。すっきりなおって、達者でいなさい」と、密かに隠れてしたことを「**神信仰**」と認め、「**救いの恵み**」に与らせて下さったのです。

⇒俗にいう、「青天の霹靂」です。

⇒同じ12年でも、12歳の少女にとって、両親が苦しみ、「**長血を患った女性**」は、12年間毎日、「**長血を捨て、患偏見と差別に苦しみました**」。

⇒どちらが、駄目で、どちらかが良いということは、ありません。はっきりしていることは、理由は何であれ、少女も、長血の女性も、**御子イエス・キリスト様**と出会って、救いに与ったことです。

⇒病気だけでなく、突然の交通事故、自然災害に、突然刃物を持つに見舞われます。

⇒主にあって、死ぬ人は、幸いであると、主は言われました(ヨハネ黙示録14:13)。

⇒差別や偏見を持つ人も、災いですが、日々の生活の中で、「**神の恵み**」を忘れたり、感謝しなかったり、不平不満で心が一杯になること、思い煩いで心が占領されることは、もっと災いです。

⇒「**主の権威**」が、ツァアラートの癒しなど、これまでの流れでした。

⇒伝道者の書12:13;【新改訳2017】  
結局のところ、もうすべてが聞かされていることだ。神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。

## 結論；

- ◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇**マタイ書**は、使徒**マタイ**が、**ユダヤ人**の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓(説教)**の箇所です。
- ◇本日の**マタイ9:20～22**は、主が、12年間、**長血を患った女性**が、**主の衣**に触って、癒されたことを扱っておられる箇所です。
  - ⇒「**長血を患った女性**」は、ユダヤの社会的、宗教的立場では、「**生ける屍**」で、**御子イエス・キリスト様**の衣に触れると、主も汚れた者にあることになっていました。
  - ⇒**御子イエス・キリスト様**は、触れた女性を責め、嫌うどころか、**マルコ5:30**で、「わたしの着物にさわったのはだれか」と、言われましたが、**マルコ5:34**で、「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。すっかりなおって、達者でいなさい」と、語りかけ、癒し、社会的宗教的にも、罪を問われない存在にされたのです。



⇒この箇所を中心メッセージは、「**神の御子、主イエス・キリスト様の権威**」ある力が、少女を生き返らせ、長血の女性を癒し、次々出て来る「盲人の目を開き」、「吃音者の口を解く」わざを見せて下さっています。

⇒ツアラー、中風、熱病等や自然界の嵐を静める等の業を通して、「**主の権威**」あるわざなのに、それに与る者の信仰のように見せて下さっています。

⇒今日の箇所で大変なのは、「**神の御子イエス・キリスト様の目線**」と、それを取り巻く人々の目線の違いで、長血を患った女性の目線では、「**生ける屍**」ですが、「**御子イエス・キリスト様の目線**」では、「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。すっきりなおって、達者でいなさい」です。

⇒私たちが、主のみことばに常に聴く必要があるのは、日常の目線が目に見える現実には生き、主の目線で見えていないからです。

⇒「**長血を患った女性**」が、「**生ける存在**」で見れるのは、主がその病を引き受けたからです。

⇒この箇所を中心メッセージは、「**神の御子、主イエス・キリスト様の権威**」ある力が、長血の女性を癒し、次々出て来る「盲人の目を開き」、「吃音者の口を解く」わざを見せて下さっています。

⇒ツアラー、中風、熱病等や自然界の嵐を静める等の業を通して、「**主の権威**」あるわざなのに、それに与る者の信仰のように見せて下さっています。

⇒今日の箇所で大変なのは、「**神の御子イエス・キリスト様の目線**」と、それを取り巻く人々の目線の違いで、「**長血を患った女性**」の目線では、「隠れてでも、衣の裾でも触れればいやされるかも」ですが、「**御子イエス・キリスト様の目線**」では、白日のもとで、「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。すっきりなおって、達者でいなさい」です。

⇒私たちが、主のみことばに常に聴く目線で現実に生きることです。

⇒ネヘミヤ8:10;【口語訳】

そして彼らに言った、「あなたがたは去って、  
肥えたものを食べ、甘いものを飲みなさい。  
その備えのないものには分けてやりなさい。  
この日はわれわれの主の聖なる日です。  
憂えてはならない。主を喜ぶことはあなたが  
たの力です」。